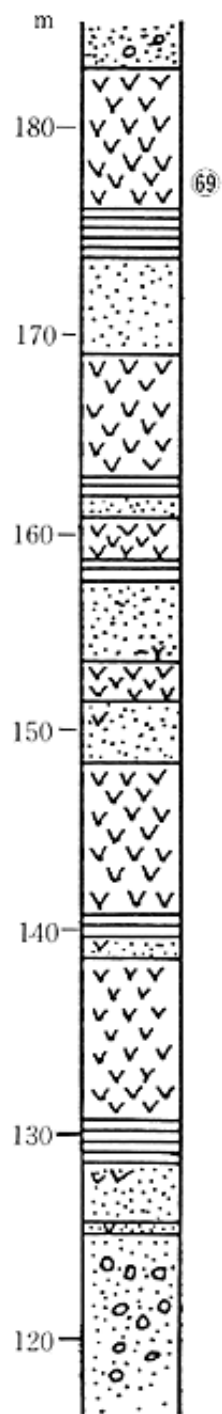
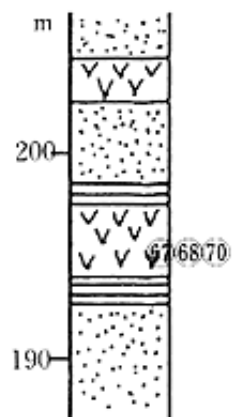


メタセコイア属 Metasequoia sp.



▲発見場所
垂水区名谷町の柱状図



▲発見場所
北区山田町の柱状図



▲メタセコイアの葉は対生



▲メタセコイアの果鱗は十字形





▲現生種(左)と化石種(右)の葉

メタセコイア属

葉は線形で、向き合ってつく対生で、球果は十字状に果鱗がついている。

現生種は、中国四川省、湖北省で1943年に発見された。学界では絶滅したとされていたのに、この発見で「生ける化石」として世界的に有名になった。

神戸層群の上部から中部まで普通に産出する。球果化石もよくみられる。

(スギ科 メタセコイア属 *Metasequoia Miki* .)



デジタル化 神戸の自然シリーズ 16 神戸層群の化石を掘る [メニューへ](#)